

令和7年度（第54回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

川崎市は、市の文化、芸術、地域社会、市民福祉、スポーツ等の各分野において、功績のあった方に川崎市文化賞・川崎市社会功労賞・川崎市スポーツ賞を贈呈し、その栄誉を讃えています。また、文化、芸術等において活躍し、将来更なる活躍が期待される若い世代の方に川崎市アゼリア輝賞を贈呈しています。

令和7年度（第54回）の受賞者を、次のとおりを決定しましたのでお知らせします。

川崎市文化賞等受賞者（敬称略 プロフィールは次面を参照してください。）



〔川崎市文化賞〕

かわさきしきかどうきょうかい
川崎市茶華道協会（芸術）



〔川崎市文化賞〕

しもやかわ きょうすけ
下八川 共祐（芸術）



〔川崎市文化賞〕

ひが たかし
比嘉 孝（文化活動）



〔川崎市社会功労賞〕

おおだいら さとる
大平 暁（社会福祉）



〔川崎市社会功労賞〕

たかはし けい
高橋 恵（保健衛生）



〔川崎市スポーツ賞〕

かい まさと
甲斐 優斗（スポーツ実践）



〔川崎市アゼリア 輝 賞〕

かわさき まいこ
川崎 麻衣子（芸術／音楽）



〔川崎市アゼリア 輝 賞〕

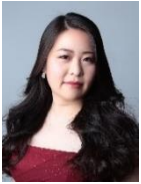
たくぼ もか
田久保 萌夏（芸術／音楽）

<問合せ先>

川崎市市民文化局市民文化振興室 山本
電話：044-200-2122

受賞者プロフィール（敬称略）

年齢／活動年数は令和 7 年 11 月 5 日現在

対象	分野	受賞者名・肩書・年齢（活動年数）	プロフィール
文化賞	芸術	かわさきしきょうかい 川崎市茶華道協会 文化団体 100 年 	大正 14 年に「華道六合会」として発足し、「川崎華道協会」への改称を経て、昭和 46 年に「川崎茶道会」と合併、以降「川崎市茶華道協会」として 100 年の長きにわたり茶道・華道の活動を通じ、市民が伝統文化に触れられる場づくりに多大な貢献をされました。 「いけ花と茶の湯の会」をはじめとした行事を毎年開催され、呈茶やいけ花を実際に体験できる機会を提供するほか、市内小学校等では、日本の伝統文化を子どもたちに伝える活動をしています。また、本市の友好都市との国際交流事業や、本庁舎エントランスホールの迎え花の展示、「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」での協力等、幅広い活動により、茶道・華道の振興と普及に尽力されています。
	芸術	しもやかわ きょうすけ 下八川 共祐 学校法人東成学園 （昭和音楽大学）理事長 83 歳 	昭和音楽大学の理事長として、クラシックからジャズ、アートマネジメント等幅広い分野の音楽教育に取り組み、川崎のみならず、世界で活躍する優秀な若手音楽家を輩出しています。 また、「音楽のまち・かわさき」推進協議会に当初から関わり現在も会長として牽引・実践するとともに、「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）」においては、創立メンバーとして実行委員長を務めるなど、総合芸術祭としての発展に大きな役割を果たされました。「フェスタサマーミュージア KAWASAKI」や「かわさきジャズ」の開催にも尽力するなど、その卓越したリーダーシップと行動力で、音楽をはじめとした文化芸術の振興及び地域の活性化に多大な貢献をされています。
	文化活動	ひが たかし 比嘉 孝 一般財団法人川崎沖縄 県人会名誉会長 78 歳 	令和 6 年に創立 100 周年を迎えた一般財団法人川崎沖縄県人会の会長として、川崎市と那覇市の交流事業に尽力するほか、沖縄をテーマとしたイベント等への企画協力によって、沖縄文化・芸能の普及啓発や地域の活性化に多大な貢献をされました。 また、川崎沖縄県人会館内に「はいさい保育園」を開園するとともに、地域のこども食堂に個人で寄付をされるなど、「ゆいまる（助け合い）」の精神で子どもたちの居場所づくりや支援にも取り組まれています。 現在は名誉会長として、会の相談役を務めるほか、川崎と沖縄が融合する舞台「音琉舞歌」の開催に実行委員会代表として尽力するなど、川崎と沖縄の文化の懸け橋として多大なる活躍をされています。
社会功労賞	社会福祉	おおだいら さとる 大平 暁 NPO 法人 studio FLAT 理事長 アーティスト 54 歳 	川崎市出身・在住のアーティストであり、「障がい者アート」等の特別な呼称をされない社会を目指し、令和元年に川崎市幸区に NPO 法人 studio FLAT を設立。障がいのある人たちのアートによる共生、経済的な自立を支援しながら、アートを通じた地域社会と連携する取組に尽力されています。 また、公募アーティストと市立特別支援学校の生徒たちの作品による「Colorsかわさき展」ではアートディレクターとして運営を支えるほか、布廃材を市民の共同作業で蘇らせ、アート作品として展示する「Kawasaki Saori Art」プロジェクトを立ち上げるなど、新たな価値を創造することで本市の社会福祉や文化芸術の振興に多大な貢献をされています。
	保健衛生	たかはし けい 高橋 恵 看護師 65 歳 	昭和 56 年に聖マリアンナ医科大学病院に看護師として入職されて以来、患者とその家族のためのより良い看護の提供に尽力するとともに、看護師の人材育成や業務改善にも取り組まれてきました。 また、川崎市看護協会において、教育担当理事として研修プログラムの充実に尽力したほか、副会長を 10 年間務めて、市医師会等の市内医療関係団体との連携強化を推進するなど、市看護協会の発展に大きく寄与されました。 看護職の「社会人基礎力の育成」分野では、国内の第一人者として全国で研修講師を務め、著書の執筆や雑誌への寄稿、研究発表等、その活躍は多岐に渡っており、本市の看護の充実と発展に多大な貢献をされています。
スポーツ賞	スポーツ実践	かい まさと 甲斐 優斗 大学生 22 歳 	川崎市在住、専修大学在学中のバレーボール選手で、2023 年に FIVB 男子バレーボール・ワールドカップに日本代表として出場し準優勝、2024 年開催の FIVB ネーションズリーグ（VNL）でも準優勝されています。さらに、パリ 2024 オリンピック競技大会ではメンバーの中で唯一大学生として選出され、7 位入賞に貢献する活躍をされました。 また、2024 年開催の第 77 回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会においては専修大学バレーボール部の初優勝に貢献し、最優秀選手賞及びサーブ賞を受賞されており、今後の日本男子バレーボール界を牽引する次世代のエースとして、今後ますますの活躍が期待されています。
アゼリア輝賞	芸術（音楽）	かわさき まいこ 川崎 麻衣子 声楽家 30 歳 	洗足学園音楽大学・大学院をともに首席で卒業・修了された声楽家で、在学中に第 73 回全日本学生音楽コンクール（声楽部門・大学の部）で第 1 位を、第 37 回ソレイユ音楽コンクールでは第 3 位を受賞するなど数々の活躍をされています。 卒業後も、カルッツかわさきで開催された第 6 回かわさき新人声楽コンクールで第 1 位を受賞し、「2024 かわさき市民第九コンサート」に出演するなど、市内での音楽活動のほか、2022 年から 2024 年に小澤征爾音楽塾の合唱メンバーとして参加し、2024 年には「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」に出演するなど、経験を積み重ねており、今後ますますの活躍が期待される声楽家です。
	芸術（音楽）	たくぼ もか 田久保 萌夏 ピアニスト 25 歳 	川崎市出身・在住で、2023 年に昭和音楽大学を特待生として卒業されたピアニストです。 小学生の時に「フェスタサマーミュージア KAWASAKI」のピアノコンサートを経験したことをきっかけにプロのピアニストになることを目指し、これまでにショパン国際ピアノコンクール in ASIA 金賞をはじめ、数々の賞を受賞されています。 現在は川崎を拠点に活動をしており、2023 年には「フェスタサマーミュージア KAWASAKI」でプロとして凱旋演奏を披露され、2024 年には、母校である昭和音楽大学における「出張サマーミュージア@しんゆり」へ出演するなど、「音楽のまち・かわさき」で培ったその才能を川崎で発揮しており、今後さらなる活躍が期待されるピアニストです。